

平成24年度 日本学校保健会事業
「医薬品に関する教育」保健教育指導者研修会
(中・高校生向け)

平成20年3月に告示された新中学校学習指導要領の保健体育において医薬品に関する内容が新たに盛り込まれ、また、平成21年3月に告示された新高等学校学習指導要領の保健体育において、医薬品の適切な使用の必要性についての内容が充実されました。本会では、これまで教員が授業において活用できる小冊子「医薬品の正しい使い方」(指導者用解説書)および「医薬品と健康」を作成しました。そこで、より効果的に授業を進めるために「医薬品を正しく使う」基礎知識となる内容、また授業での指導方法などの実践事例等を通して指導者が身につけておくことが有効であると考え、昨年度に引き続き本研修会を実施いたします。

開催日時・場所

平成25年2月6日(水) 開場12:00 開会13:00 ~ 終了16:00

山口県健康づくりセンター 第一研修室

住所: 山口県山口市吉敷下東3-1-1

参加費・資料代
無料

- ◆バス 新山口駅より防長バス(山口方面行)→大橋停留所下車 徒歩5分(所要時間約30分)
- ◆電車 ①新山口駅よりJR山口線 矢原駅下車 徒歩25分(タクシー無)
②新山口駅よりJR山口線 湯田温泉駅下車 徒歩20分(タクシー有)
- ◆タクシー 新山口駅より 約30分

研究会概要

参加対象 学校教育関係者(保健体育・道徳・特別活動・生徒指導担当教諭、養護教諭、保健主事、管理職、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、スクールカウンセラー、行政担当者)

人数 210名(申し込み先着順、定員になり次第締め切り)
内容

- ①学習指導要領に基づく「医薬品」に関する教育について(仮題)
文部科学省 健康教育調査官 北垣 邦彦
- ②「医薬品の正しい使い方」(指導者用解説書)等小冊子の紹介(仮題)
兵庫教育大学大学院 教授 鬼頭 英明
- ③「医薬品と健康」高校生用を用いた授業実践事例(仮題)
京都市立下鴨中学校 教諭 上田 裕司
鹿児島県立加治木高等学校 教諭 富岡 剛
- ④「学校薬剤師」との連携のあり方(仮題)
東京薬科大学薬学部 教授 加藤 哲太
- ⑤特別講演「よりよいセルフメディケーションの実践に必要な知識」(仮題)
慶應義塾大学薬学部 教授 望月 眞弓

裏面の参加申し込みシートをご利用ください

